

弘前大学1年 人文学部 川戸 里紗さん

私は今、弘前大学人文学部で法学を専門に勉強しています。私たちの大学には全部で5つの学部があり、全体の人数は約7000人です。

サークルは、中高と続けている吹奏楽を大学でも続けたいと考え、吹奏楽団で活動しています。中高の部活では少人数でしたが、大学では55人以上の大編成です。サークルの仲間は吹奏楽が大好きで大学まで続けている人ばかりなので、話していてとても楽しいです。サークルは高校までと違い自分たちで運営するので、上級生からその難しさも学んでいます。

学校でも、今までは小さい頃から一緒に友達がクラスにたくさんいましたが、大学では知らない人ばかりです。人数が多いので、友達の輪もどんどん広がります。

また、学生寮で生活しており、寮でできた友達とは家族のような関係です。

大学の勉強は、講義を聞いて自分で調べて勉強することがほとんどです。1年後期になって専門科目も増え、自分の好きなことが勉強できるのはとても楽しいです。サークルやアルバイトでは、新しく覚えることばかりでうまくいかないこともありますが、それを含めて充実した生活を送っています。

そして、大学生は自由にいろいろなことができる反

面、責任も大きいです。怠けたからといって叱ってくれる先生も親もいません。たくさんある時間を無駄にしないためには、自分で自分を管理する能力が必要だと感じました。

そういった力を育ててくれたのは、中高の部活や勉強、人間関係だと思っています。今まで中学や高校で学んできたことが役に立っていてうれしいという場面も多いですし、反対に自分では全くどうにもならなくて悔しい思いをすることもあります。楽しいことも悔しいことも含めて、将来に向けた勉強をし、友達と過ごせていることはとても幸せです。大学の友達や社会人の友達を見習ってたくさん勉強し、北海道に帰りたいと思います。

皆さんが自分の将来の夢を実現できるよう応援するとともに、同世代として一緒に頑張っていきたいと思っています。



平成28年度奨学金制度募集要項

平成28年度奨学金制度受給者の募集を行います。手続方法や提出書類など、詳しくはお問い合わせ下さい。

	高校生給付型 (返還不要)	大学生給付型 (返還不要)	大学生等貸付型
対象者	①町内に住所を有する又は住所を有する方の子弟である方 ②経済的理由により修学困難な方 ③身体健康、学業優秀及び性行善良な方	町内の高等学校を卒業し、大学又は教育委員会が別に認める学校等に修学する方で、新ひだか町のその他の法令等の規定に基づく学資の支給又は貸付を受けていない方	大学、短期大学、専修学校(専門課程)、又は教育委員会が別に認める学校等に修学する方
人数	20名以内	4名以内	6名以内
金額	月額9,000円以内	月額37,000円以内	月額25,000円以内
その他	通学方法等により、月額1,500円の加算あり	将来において、新ひだか町への地域貢献など郷土に対する熱意が認められること	卒業後、貸付を受けた期間の2倍の期間内で返還が必要です(無利子)。ただし、卒業後6か月以内に町内に居住し、就業したときは、返還を免除される場合があります。

【手続き】奨学金の申請は、学校を通じて行いますので、奨学金の支給を希望する方は、「奨学生申請」等の書類に必要事項を記入の上、学校の担当の教員に提出して下さい(高校在學生は高校、来年度入学予定の新1年生は、3月現在の在学学校へ)。

なお、前年に引き続き申請する方についても、再度申請して下さい。申請等書類は、各学校又は教育委員会にありますので、交付を受けて下さい。

【応募期間】4月1日(金)から4月28日(木)まで

【問合せ】教育委員会管理課 ☎ 49-0088

平成27年度奨学金制度実績

町では、成績等が優秀であるにもかかわらず、経済的理由で修学困難な状況にある生徒、学生等のために給付制度・貸付制度を実施しています。平成27年度は、合わせて24名の学生が奨学金制度を利用しました。内訳は下記の表のとおりです。

	高校生給付型	大学生給付型	大学生貸付型
人数	16名	2名	6名

奨学生活動報告

今年度から新しく導入された「大学生給付型奨学金」の奨学生から、大学生活における活動報告が届きましたので、紹介します。

新潟県立大学1年 国際地域学部 高辻 麻衣さん

大学生活は今まで経験したことのない忙しさとそれを何倍も上回る楽しさであふれています。私が高校生の時「大学は遊ぶ場だ」という言葉をよく耳にしましたが、実際にはそんなことはなく、確かに使える時間は増えましたし、行動範囲ははるかに広がりましたが、私にとって大学とは経験の宝庫であり、自分を一日一日大きく成長させてくれる場であると思います。大学の掲示板には随時たくさんのボランティアや講演会、ワークショップの案内が更新されており、いつでも参加できます。

私は、国際環境ボランティアサークルに所属しており、9月にカンボジアのオンドンプレン村というところへの井戸建設計画に携わりました。井戸を作るための材料費、現地の建設に携わる人への給料など全てを自分たちの手で集めました。まさか大学一年目でこんなに大きなプロジェクトに参加できるなんて思いもしませんでした。

この村には学校はあるのですが音楽や美術、体育の授業がありません。そのため、井戸建設だけではなく音楽と体育の出張授業をしました。

私は、体育の授業を考えるリーダーとして携わり、楽しそうに授業をうける子どもたちをみて本当に胸がいっぱいになりました。

このように大学にはやりたいこと・やりたい気持ちさえがあれば何でも参加できます。私もこの数か月でいくつもやりたかったことを実行に移すことができました。

他大学とも盛んに交流できるので驚くほど人脈が

広がります。更に知り合う人はみな自分と似た考え方や目標を持っている人、その逆で今まで自分が考えもしなかったことに興味を持った人や同じ大学生なのに自分よりはるかに芯が通っていて大きい目標を持つ人に出会うことができます。

こんなに充実した日々を改めて振り返り思うことは、高校までを新ひだかで過ごしてよかったということです。

今の自分があるのも全て支えてくれた高校の先生方や家族のおかげです。あんなにも恵まれた環境にあるのもっと早く気づけていたらと思います。

一人暮らしは大変なことも多いですが、これからも応援してくれる家族のサポートとこの奨学金を私に授けてくれている町の方々の応援を胸に頑張っていこうと思います。

